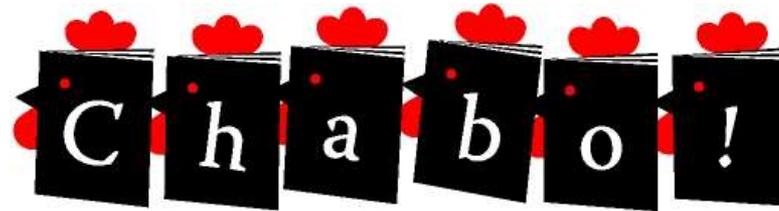


Charity Book Program!



CHARITY BOOK PROGRAM

2012年 活動報告

特定非営利活動法人ジェン(JEN)
2013年9月

1. 2012年の Chabo!

- 1-1 寄付金額1億円達成しました！
- 1-2 2012年にChabo! のお蔭で達成されたこと
- 1-3 会計報告
- 1-4 なぜ Chabo! が自立の支援を支えるのか

2. 2011年の事業ハイライト

- 2-1 東日本大震災 緊急・復興支援
- 2-2 海外7か国での自立の支援(シリア難民、南スーダン、スリランカ)

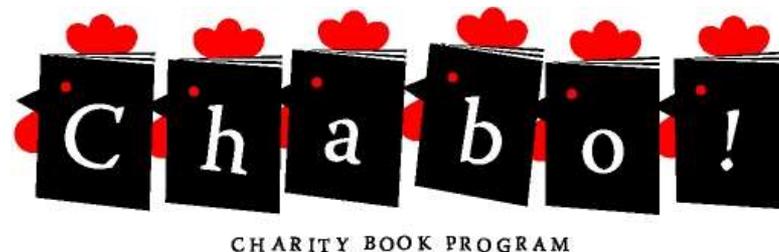
3. Chabo! と著者の皆さまと出版社

- 3-1 第1回 Chabo! チャリティ☆ラン
- 3-2 Member! と Chabooks!と出版社のご紹介

4. 2013年の Chabo!

1. 2012年のChabo!

- 1-1 寄付金額1億円達成しました！
- 1-2 2012年にChabo! のお蔭で達成されたこと
- 1-3 会計報告
- 1-4 なぜ Chabo! が自立の支援を支えるのか



1億円を達成しました！

「Chabo!」(チャリティ・ブック・プログラム)による
ご寄付の累計金額が
プログラム開始から4年の2012年4月に1億円を突破しました！



1億円達成記念のお祝いパーティ@JEN東京本部(10月)

「Chabo!」にご賛同くださいました皆さまに心から御礼申し上げます。
本当にありがとうございました。



1. 東日本大震災の復興支援 とシリア難民緊急支援

前年3月に太平洋沿岸を襲った地震とそれにともなう津波の被害は、東北地方全体に深い爪痕を残しました。2年目を迎える東北の復興支援は、過疎や高齢化など東北地方が長らく抱えてきた課題への挑戦でもありました。また、中東の国・シリアでは、紛争により55万人(2012年末時点)^(※)もの人びとが国境を越え難民として流出しました。JENでは、2012年9月、シリアの隣国ヨルダンにて緊急支援を開始しました。巨大災害の被害からの復興、そして、先の見えない紛争から逃れた人びとの支援を通じ、Chabo!は、人びとの「自立」をサポートしました。

^(※)2013年9月時点、難民数は200万人を超えています。

2. Chabo! の寄付金が累計1億円を達成しました

2018年のプログラム開始以来、Chabo!の寄付金が累計で103,522,045円(2012年12月末時点)となりました。Chabo!の資金は柔軟なため、緊急時や復興の過程のニーズの変化において迅速に対応することを可能にします。また、公の助成金がカバーしない費目(人件費、事務所運営費など)に充てることが可能となり、公の助成金の質を高める効果を発揮しています。

3. イベント参加を通じた「支援の輪」のひろがり

Chabo!では、一般の方々が楽しみながら支援に参加できる機会を、著者の皆さまや推進委員の皆さまとともに企画し、実施しています。2012年は、ボランティア20名からなる「Chabo!チャリティ☆ラン」実行委員会が結成。「Chabo!チャリティ☆ラン」を開催しました。一般の皆さま、著者の皆さま、ボランティアの皆さま、あわせて66名の皆さまにご参加いただきました。



なぜ Chabo! が自立の支援を支えるのか



長くかかる自立支援を支える柔軟な資金調達システム

ジェンは、プロジェクト終了後も支援の効果が持続する(＝地域の人びとが自らの力で自立した生活を続けられる)よう、中長期的な視点にたち、現地の人びとの力と資源を活かした事業をプログラムします。現地の人びとが、いかにプロジェクトの目的を理解し、課題の克服のために活躍できるかが鍵を握るため、人びとが主体的に参加できるプロジェクトを目指しています。

Chabo!の長期的かつ継続的な資金調達の仕組みは、緊急支援から復興支援にいたるまで、紛争や自然災害により、本来の自立する力を発揮できないでいる人びとが、自信を回復し、再び自らの力で立ち上がろうとする意欲と実力を取り戻すための、長い道のりを支えています。公の助成金などと比較して用途が柔軟なため、予測不可能な自然災害や紛争などの緊急支援や、その後の復興支援の継続的な資金源となり、人びとの自立を長期的に支えます。また、現場のニーズの変化に伴う必要な変更が可能のため、助成金がカバーできない費目にあてることで、柔軟性の高い事業が可能となります。

2011年は、日本を含む以下8つの国と地域で、自立を支える支援を行いました。

アフガニスタン／イラク／南スーダン／パキスタン／スリランカ
ハイチ／日本(宮城県)／ヨルダン(シリア難民支援)



会計報告



■収入 (2012年1月～12月)

著者からのご寄付	4,745,260円
一般からのご寄付	12,000円
イベントの収益	52,563円

寄付金合計	4,809,823円
2011年からの繰越金	996,160円

合計 **5,805,983円**

■支出(2011年1月～12月)

スーダン:	1,834,747円
スリランカ:	946,817円
シリア難民支援:	489,703円
管理費 ^(※1) :	961,965円

合計: **4,233,232円**

■2013年への繰越金 **1,572,751円**

■2013年予算配分^(※2)

スーダン(%):	1,250,000円
スリランカ(%):	1,250,000円
パキスタン(%):	750,000円
シリア(%):	750,000円
管理費(%) ^(※3) :	1,000,000円

配分額合計: **5,000,000円**

(※1) 年間の寄付金総額の20%を計上しています。

(※2) 予算作成時点(前年6月末)の寄付金収入の予測にもとづき作成しています。

(※3) 事業予算の20%(翌年の寄付金総額(予測)の20%)を計上しています。



会計報告



■ 2012年 支出内訳

(内訳は、1,000の位で四捨五入)

スリランカ事業 946,817円

- 帰還民生計回復支援事業
井戸掘削プロジェクト
 - ・移動費 (コロンボ⇄事業地 出張経費)
 - ・事務所維持費 (コロンボ事務所賃料)

スーダン事業 1,834,747円

- 学校・コミュニティ水衛生改善事業 / 帰還民コミュニティ支援事業
水衛生環境整備事業
 - ・井戸修理工の組織化トレーニング費 (移動費、参加者の食事・宿泊費)
 - ・事務所維持費 (ジュバ事務所賃料、電力維持費)
 - ・車輻費 (修理費、保険代)
 - ・NGO活動許可登録費 (南スーダン政府発行)

ヨルダン事業 489,703円

- ヨルダンにおけるシリア難民緊急支援
緊急支援: ホストコミュニティのニーズ調査
 - ・ウェア (ユニフォーム)
 - ・スタッフ査証 (ヨルダン政府発行)
 - ・事務所維持費
 - ・車輻維持費 (レンタル) ・雑費